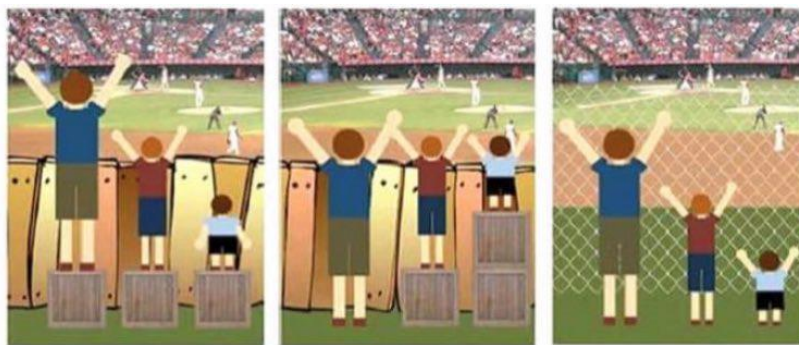
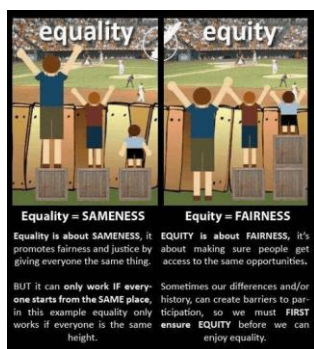




たまには真面目なお話part3

前回の続きで「平等と公正」について下記の図を見た事がある方もいらっしゃるかと思いますが、野球を観戦するという場面を使って平等と公正の違いを表しています。Equalityが平等、Equityが公正となっています。



左図の説明文には

平等 Equality = Sameness

「平等は公正さを推進させるために全員に対して同じものを与える。しかしそれが正常に機能するのは全員のスタート地点が同じ場合に限られる。この場合では全員の身長が同じ時だ」

公正 Equity = Fairness

「公正さは人々を同じ機会へのアクセシビリティ(利用しやすさ)を確保する事。個人それぞれの差異や来歴は、何らかの機会への参加に対し障壁となることがある。まずは最初に公正さが担保されて初めて平等を得る事が出来る」

と記載をされています。私は、平等は「スタートラインを一緒にする事」公正は「その方の状態に合わせてスタートラインを調整する事」と考えています。更に、右の図は木の塀から金網に変える事で「環境」を整える事を表しています。

私が、保育園で年長の担任をしていた時にクラスに歩行器を使っている子がいました。年長児は運動会の時に走り縄跳びと年長全員が参加をするリレーをするのですが、その子が、運動会に参加をする時にどうやったらその子が参加をしやすいのかを子どもたちと話し合いをしました。私はあまり意見を言わずに見守っていたのですが「走り縄跳びは両サイドに子どもが立って縄跳びを回しながら一緒に走る」「リレーは1/3の距離にして2/3は早い子が走ってカバーをする」という形に決まりました。平等という視点で考えれば「みんなと同じ様に自分で縄跳びを回して、スタートラインもみんなと一緒に」という事になります。公正という考え方を持つ事は、何か困難さを抱えている人も平等に社会参加が出来る事に繋がっていきます。

嵯峨 憲司



1 部

夏休み（8月後半）

お盆休みが明けた夏休み後半の様子です。例年では、お盆が明けると家族と外出して楽しかった話をたくさんしてくれるのですが、今はコロナ渦ということもあり、ご自宅でバーベキューをした話などSTAYHOMEで工夫されて過ごしてた話をたくさん聞かせてくれました。MJに来たかったよと言ってくれる子もいて、とてもうれしい気持ちになりました♪

ゲーム大会



おやつやMJ通貨の賞金をかけたゲーム大会を開催しました。カーや水鉄砲射的、魚釣りをドゲーム楽しみました。チーム戦では協力したりチームメイトを応援をしながら、頑張っていました。

MJシアター



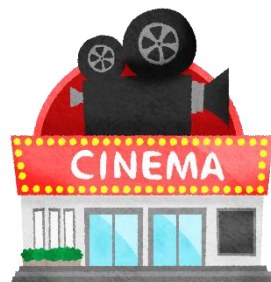
MJの会議室を映画館のようにセッティングし、名作と呼ばれる作品を鑑賞しました。マスクを着用し、同じ方向をむいて鑑賞するなど映画館でのマナーを事前に学びました。



工作 キーホルダー



プラバンでネームプレートを作成しました。やすりをかけると色鉛筆でも塗れるのです！色がたくさん選べるので思った通りの雰囲気で作成がしあがり子ども達も感動していました



2 部

それぞれの夏休み



2部に通う受験生や高校生にとって、夏休みは目標に向かうための時間ややりたいことにチャレンジできる大切な期間でもあります。それぞれどのように過ごしていたのか、実際の声をインタビューしてみました。状況もさまざまなMJ生は、自分に必要となる経験を通して成長できた夏になったようです！！

中3生：今年は高校受験なので夏期講習に行きました。基本は毎日でしたが、毎日だと大変なので週の真ん中の水曜日などは午後だけ行くようなスケジュールにして、頑張りました。

高校生1：わたしはお母さんのお手伝いを毎日していました。朝早く起きて、掃除機とお皿洗いを毎日続けました。学校がはじまっても学校に行く前に続けています。

高校生2：7月からバイトをはじめました。バイトを始めてよかったことは、時間を守らなきゃという気持ちが強くなりました。仕事となると遅刻したり忘れたりできないので。バイトを始めて大変だなと思ったことは、バイトを主にするとうちの友達との時間や部活などバイト以外の時間が作りにくくなりました。なので、合間をみつけて友達と会ったりしていました。時間の管理がうまくなった気がします。

デコレーション課 秋ver.



・受給者証（誕生日月に更新）

ご自宅に届きましたら、できるだけ早くMJへお持ちください。またお手元に現在お持ちの受給者証にMJの印が押してあるかのご確認をお願いいたします。

・実績記録表（緑色のファイル）

ファイルの中身を通所日帰宅後にはご確認をお願いいたします。お便りや書類が入っている場合もございます。